



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月20日

上場会社名 株式会社 スーパーツール
コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部兼総務部部长 (氏名) 梅森 正芳

TEL 072-236-5521

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年3月16日～2024年12月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,973	11.3	336	7.0	335	1.6	258	
2024年3月期第3四半期	4,477	12.4	314	29.1	329	27.4	228	25.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 252百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 265百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	110.01	
2024年3月期第3四半期	98.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	13,324	10,269	77.1
2024年3月期	13,103	10,662	81.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,269百万円 2024年3月期 10,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		35.00		35.00	70.00
2025年3月期		35.00			
2025年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月16日～2025年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,630	3.8	430	0.4	430	3.7	200		85.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,366,078 株	2024年3月期	2,366,078 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	11,515 株	2024年3月期	22,036 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,350,500 株	2024年3月期3Q	2,321,729 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年3月16日から2024年12月15日)におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。一方でウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張による原材料価格やエネルギー価格の高止まり、さらには欧米諸国での政策金利の引き上げによる為替相場の変動、米国新政権の動向等景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、吊クランプ管理アプリケーション「S・M・A・Я・T」によるソリューションビジネスモデルの構築を図りながら、販促キャンペーンの実施や各種展示会への出展等プロモーション戦略を展開してまいりました。また、製品開発においては、生産・販売・技術部門が一体となり、お客様目線に立った製品開発をよりシステムチックに推し進める体制構築に注力いたしました。さらに、新物流倉庫・組立工場が2024年秋に本格稼働したことにより、物流と生産の高効率化、作業環境改善、安全性向上及び一気通貫の生産体制による各生産工程の改善、新規加工設備への投資等により生産能力増強を図ってまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境の中、少数精鋭の事業体制により太陽光発電所の施工等収益確保に努めてまいりました。しかしながら、連結子会社である株式会社スーパーツールECOが手掛ける環境関連事業におきましては、当初想定していた事業収益及び関連事業でのシナジーを見こむことが難しいと判断したため事業撤退を決定いたしました。

引き続き、全社的なコミュニケーション改革を通じた連携強化によるコストダウン及び収益の安定化に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,973百万円(前年同四半期比504百万円減、11.3%減)、営業利益は336百万円(前年同四半期比22百万円増、7.0%増)、経常利益は335百万円(前年同四半期比5百万円増、1.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失は258百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益228百万円)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、連結子会社の事業撤退損を特別損失に計上したことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

国内市場では、作業工具の分野において、豊富なラインナップと新製品のオープンギアレンチなどのお客様目線で作業効率向上に効果的な機構が付加されたレンチ類や、様々な機械のメンテナンスに適したプーラ類が堅調に推移いたしました。また、産業機器の分野については、ソリューションビジネスの皮切りとして吊クランプの販売拡大に注力するなか、機械加工設備に必要な加工対象物を固定するジグブロックや強靱で作業性に優れた治具パーツなどの治工具類が堅調に推移いたしました。

海外市場では、当社の主要市場である韓国において、現地法人の強みを活かした営業活動に取り組みましたが、建設業界の内需産業の低迷が続いており販売は伸び悩みました。米国においては、積極的な営業活動により吊クランプビジネスが堅調に推移いたしました。その他の地域については、販促戦略のポイントとして、日本企業製品及び安全性を軸に各国重要取引先との協議を進め新規市場開拓に努めてまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,651百万円(前年同四半期比271百万円減、6.9%減)、セグメント利益は607百万円(前年同四半期比63百万円増、11.7%増)となりました。

(環境関連事業)

自然環境への配慮や設置コスト、発電効率面で優位性のある水上設置型太陽光発電所の施工及び関連部材の販売に取り組んでまいりました。しかし、取り巻く事業環境は依然として厳しく、資材価格の高止まりや人材補強による事業体制整備が困難な状況で推移したため、前述のとおり、連結子会社である株式会社スーパーツールECOが手掛ける環境関連事業につきましては事業撤退を決定いたしました。なお、売電部門の3ヵ所の発電所は順調に稼働しており、収益に寄与しているため引き続き事業に取り組んでまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は321百万円(前年同四半期比232百万円減、41.9%減)、セグメント利益は59百万円(前年同四半期比0百万円増、0.9%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1.7%増の13,324百万円(前連結会計年度は、13,103百万円)となり前連結会計年度末に比べ221百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、その他に含まれる未収消費税等の増加151百万円、仕掛品の増加133百万円、現金及び預金の減少703百万円等であり、固定資産では、建物及び構築物(純額)の増加1,678百万円、建設仮勘定の減少598百万円、長期未収入金の減少426百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比25.2%増の3,055百万円(前連結会計年度は、2,440百万円)となり前連結会計年度末に比べ614百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、設備関係未払金の減少104百万円等であり、固定負債では、長期借入金の増加726百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比3.7%減の10,269百万円(前連結会計年度は、10,662百万円)となり前連結会計年度末に比べ392百万円減少しました。

この主な要因は、自己株式の増加25百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上258百万円、配当金の支払いによる減少164百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月15日付「2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2024年12月27日公表の「当社一部事業再編に伴う連結子会社の事業撤退並びに特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,667,077	964,067
受取手形及び売掛金	709,742	637,605
商品及び製品	1,578,302	1,695,770
仕掛品	1,246,131	1,379,196
原材料及び貯蔵品	400,515	393,357
前渡金	9,879	2,063
未収入金	70,210	424
その他	35,032	195,008
流動資産合計	5,716,891	5,267,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	339,421	2,017,564
機械装置及び運搬具(純額)	758,582	712,762
土地	4,544,607	4,544,607
建設仮勘定	621,928	23,474
その他(純額)	25,312	85,075
有形固定資産合計	6,289,852	7,383,483
無形固定資産	100,866	86,138
投資その他の資産		
投資有価証券	426,398	438,797
長期未収入金	426,252	—
繰延税金資産	108,362	115,945
その他	34,594	33,060
投資その他の資産合計	995,607	587,803
固定資産合計	7,386,326	8,057,425
資産合計	13,103,217	13,324,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,021	320,637
1年内返済予定の長期借入金	99,960	167,976
未払金	227,737	185,681
前受金	63,684	6,639
未払法人税等	80,370	43,365
賞与引当金	50,036	11,977
返金負債	75,252	81,233
設備関係未払金	104,368	—
その他	27,518	42,544
流動負債合計	984,949	860,054
固定負債		
長期借入金	237,700	964,542
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
退職給付に係る負債	194,490	206,859
その他	1,002	1,002
固定負債合計	1,455,825	2,195,036
負債合計	2,440,775	3,055,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,235,090	2,235,090
資本剰余金	1,160,445	1,159,360
利益剰余金	4,806,955	4,383,933
自己株式	△49,723	△24,340
株主資本合計	8,152,768	7,754,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,249	198,107
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	1,323	577
その他の包括利益累計額合計	2,509,673	2,515,784
純資産合計	10,662,442	10,269,828
負債純資産合計	13,103,217	13,324,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月16日 至 2024年12月15日)
売上高	4,477,603	3,973,150
売上原価	3,208,075	2,681,702
売上総利益	1,269,527	1,291,447
販売費及び一般管理費	955,446	955,227
営業利益	314,081	336,220
営業外収益		
受取利息	16	76
受取配当金	10,142	12,741
助成金収入	4,470	—
為替差益	570	511
その他	2,966	4,596
営業外収益合計	18,167	17,926
営業外費用		
支払利息	2,117	5,789
倉庫移転費用	—	8,350
その他	353	4,903
営業外費用合計	2,471	19,042
経常利益	329,776	335,103
特別利益		
固定資産売却益	818	—
特別利益合計	818	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
事業撤退損	—	490,326
特別損失合計	0	490,326
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	330,595	△155,222
法人税、住民税及び事業税	114,696	113,957
法人税等調整額	△12,357	△10,608
法人税等合計	102,339	103,348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228,255	△258,571
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	228,255	△258,571

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月16日 至 2024年12月15日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228,255	△258,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,827	6,857
為替換算調整勘定	1,777	△746
その他の包括利益合計	37,605	6,111
四半期包括利益	265,860	△252,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,860	△252,460
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は25,383千円（11,249株）減少いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は24,340千円となりました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月16日 至 2024年12月15日)
減価償却費	146,985千円	183,006千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,922,993	554,609	4,477,603	—	4,477,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,922,993	554,609	4,477,603	—	4,477,603
セグメント利益	544,323	58,804	603,127	△289,046	314,081

(注) 1 セグメント利益の調整額△289,046千円には、セグメント間取引消去1,516千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△290,563千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月16日 至 2024年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,651,165	321,984	3,973,150	—	3,973,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,651,165	321,984	3,973,150	—	3,973,150
セグメント利益	607,787	59,349	667,137	△330,917	336,220

(注) 1 セグメント利益の調整額△330,917千円には、セグメント間取引消去1,453千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△332,370千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。